

宇和島市における支援対象児童等 見守り強化事業の取組みについて

愛媛県宇和島市 こども家庭課

宇和島市の概要



面積	468.19km ²
人口(R5.1.31現在)	69,849人 うち0~17歳 8,378人 65歳以上 28,177人
世帯数(R5.1.31現在)	35,262世帯
ひとり親世帯(R3.4.1現在)	1,489世帯

【地域の社会資源】

子育て世代包括支援センター1カ所
公立小学校30校(休校2校)・公立中学校6校
認定こども園5園・保育所19園(休園1園)
家庭的保育所2園(休園1園)
地域子育て支援拠点7カ所
放課後児童クラブ10カ所、放課後子ども教室9カ所
児童養護施設1カ所・ファミリーホーム3カ所
子ども食堂・地域食堂15カ所

開始年度 令和3年度

委託先 宇和島市子ども食堂連絡協議会

対象者 市内に住所を有する以下に掲げる者

- ①要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等
- ②子ども食堂等を利用する子ども等で市長が必要と認める者
- ③その他市長が必要と認める者

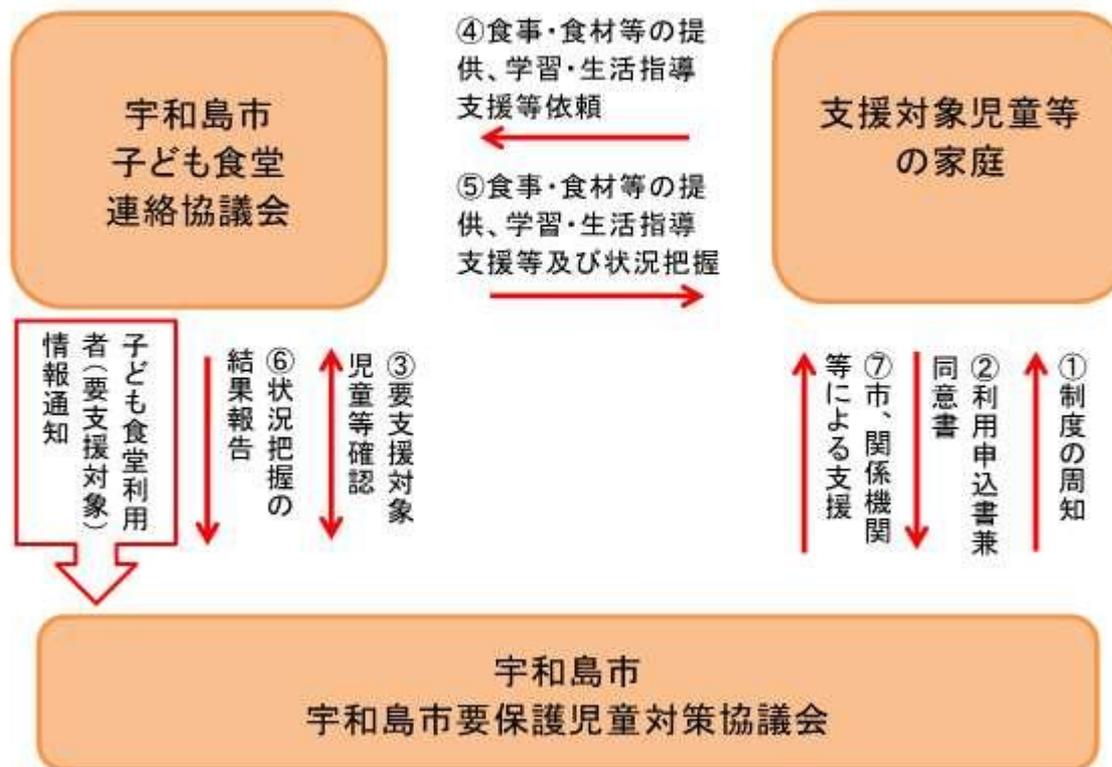
事業内容

- ①食事や食材の提供(配達等を含む)
- ②基本的な生活習慣の習得支援や生活指導
- ③学習習慣の定着や基礎的な学力向上等のための学習支援
- ④居宅訪問やICT機器等を活用した見守り及び相談対応
- ⑤その他市長が認める支援

子ども食堂連絡協議会について

- ◆ 会員団体 :15団体(協力会員を含む)
- ◆ 連絡会 :2ヶ月に1回(奇数月の第1火曜)
(構成員:会員団体・市・県地方局・社協 他)
- ◆ 会議内容:活動報告、課題共有、助成金等の情報提供、研修
- ◆ 受託事業:支援対象児童等見守り強化事業
- ◆ 参加会議:宇和島市要保護児童対策地域協議会
宇和島市民協働のまちづくり推進指針策定委員会

支援対象児童等見守り強化事業のスキーム



(様式第1号)

年 月 日

宇和島市長

様

宇和島市支援対象児童等見守り強化事業利用申込書兼同意書

宇和島市支援対象児童等見守り強化事業を利用したいので、次のとおり申込みます。

なお、この事業の範囲内で、次に掲げる申込者の属する世帯等の個人情報を宇和島市並びに宇和島市子ども食堂連絡協議会、関係機関等に提供することに同意します。

フリガナ		性別	
氏名		男・女	
住所	〒 宇和島市	勤務先	
生年月日	年 月 日 (歳)		
電話番号	(携帯)		

申込者

氏名	続柄	生年月日	勤務先・学校・学年
フリガナ			

家族構成

支援内容の希望	<input type="checkbox"/> 1 食事・食材の提供 (訪問) <input type="checkbox"/> 2 生活指導支援 <input type="checkbox"/> 3 学習支援
---------	--

特記事項 (記入はしなくてください)

※希望する支援内容の番号を○で囲んでください。

伊達なうわじま安心ナビ




お知らせ		
2月4日 (土曜日)	ふれあい子ども食堂	泰平寺 (神田川原8)
2月11日 (土曜日)	うわつこども食堂	宇和津公民館 (妙典寺前乙640)
2月12日 (日曜日)	ぐらんま子ども食堂	ともえの里 (榊形町2-1-8)
2月19日 (日曜日)	スペースゆうみんなの食堂	スペースゆう (中央町2-5-18)
2月19日 (日曜日)	もてころ食堂	山瀬鮮魚店駐車場
2月19日 (日曜日)	エデン子ども食堂	番城公民館 (宮下甲201)

令和5年2月子ども食堂等開催予定について



記事ID:0084468 更新日:2023年2月1日更新

令和5年1月の子ども食堂等の開催予定をお知らせします。

子ども食堂開催予定

日付	子ども食堂等名称	開催場所 (住所)	時間	料金	問い合わせ先
2月4日 (土曜日)	ふれあい子ども食堂	泰平寺 (神田川原6)	11時30分～ なくなり次第終了	大人:200円 子ども:無料	22-0833
2月11日 (土曜日)	うわつこども食堂	宇和津公民館 (妙典寺前乙640)	11時30分～ なくなり次第終了	大人:200円 子ども:無料	090-9713-9676
2月12日 (日曜日)	ぐらんま子ども食堂	ともえの里 (梶形町2-1-8)	11時30分～	大人:200円 子ども:無料	22-0326
2月19日 (日曜日)	スペースゆうみんなの食堂	スペースゆう (中央町2-5-18)	11時30分～	大人:200円 子ども:無料	090-8571-4248
2月19日 (日曜日)	もてろ食堂	山瀬鮮魚店駐車場	11時30分～	大人:200円 子ども:無料	090-3183-1444
2月19日 (日曜日)	エデン子ども食堂	番城公民館 (宮下甲201)	11時～	大人:200円 子ども:無料	28-9191
2月25日 (土曜日)	移動子ども食堂でてく	津島福祉会館 (津島町岩松甲1318)	11時30分～	大人:200円 子ども:無料	090-7577-4141
2月26日 (日曜日)	ふれあいモーニング	あずも (津島町浦知380)	9時00分～12時00分	大人:500円 中学生以下:無料	49-1317



子ども食堂マップ [PDFファイル/13.63MB]

アセスメントシート

支援対象児童等見守り強化事業アセスメントシート

項目	チェックの視点	チェック項目	父	母	子	その他 ()
虐待	連続性					
	虐待歴					
関係機関から情報あり	関係機関から情報あり	児童相談所、保健福祉課、保健課、福祉課、児童課、警察、保育所、学校、幼稚園、民生委員、近隣、施設				
	年齢	3歳未満				
	身体的状態	低身長、体重増加不良、発育不全、障害(身体、知的、精神) 先天制疾患、持病、複雑な肥満、虫歯				
	精神的状態	笑わない、感情が乏しい、視線が合いにくい、言葉の遅れ、固執リズム 抜け毛、自傷、引きこもり、おしゃべり、興奮、年齢不相応な性的興味				
	性的虐待	性別、妊娠、薬い				
	問題行動	暴力、刀引き、火遊び、喫煙、家出、深夜徘徊、虚言、自傷行為、不登校 性的行動、過食異常拒食、べたべたする、多動、発声障害なし、嘔吐				
	意思・気持ち	家に帰りがたらない、服を捨てる、朝の前で憂鬱 朝が来ても無表情、朝の口止めに応じる				
	日常的な世間の欠如	ひどいムツカふられ、身体衣類の汚れ、臭臭、風呂に入れない 季節に合わない衣服、朝食を食べていない				
	精神状態	鬱的、精神症状、通院したことがない、以前通院していた 通院できにくい、服薬できにくい				
	性格の問題	衝動的、攻撃的、癪り、共感的欠如、人との関わりが悪い、被害的 その場通れ、嘘が多い、自己中心的、思い込みが激しい、自信がない				
	妊娠・出産前後	予期せぬ妊娠、帰郷回数少ない、飛び込み出産、 母子手帳発行遅延、繰り返す出産				
	被害経歴	被害経歴、要されなかった思い、厳しいしつけを受けてきた				
養育者	アルコール・薬物	アルコールの匂い、振舞いがうつろ、金額しにくい、薬い、 依存症(薬物・アルコール・薬物・薬物)				
	虐待自覚	問題意識なし、体罰意識、しつけ主張、虐待認識、虐待者をかばう				
	子どもへの感情・態度	無関心、感情に可哀がったり突き放したり、子をつけなす ほめない、褒めない、虐待高率の口止め、 子どもの態度や行動を受け入れられない、権威的、過干渉				
	養育意欲能力	子にかかわらない、改善意欲なし、ケアの怠慢、長時間夜間放置				
	養育知識	若年親、知識不足、不適切、虐待識別				
	援助・指導の受け入れ	拒否、無視、訪問で待す				
	社会的サポート	地域で孤立、近隣とのトラブル、親族とのトラブル、 相談できる人がいない				
	家族問題	別居、家出、未婚、離婚、再婚、内縁、配偶者の死亡、 両親以外の養育者、家庭構成の変化、子だくさん、介護				
	DV	加害者() DVの履歴(身体的、精神的、性的、経済的、社会的関係)				
	子を守る人	同居人がいても子を守る人がいない、危険なとき子の逃げ場がない				
	生活環境	住所不定、転居を繰り返す、不衛生、居室内の着しい乱れ				
	関係機関に協力要成なし	拒否、接触困難、抵抗、不信感、感情的				
経済的問題	借金、失業、定額なし、働く意欲なし、働く機会を失う					

記入方法) 該当するチェック項目を○で囲んで下さい。チェック項目に該当する者が父や母の場合、○を、子の場合、対象の子の名前を、
その他の場合、内縁の夫や妻、親族等の続柄を()内に記入し、○を付けて下さい。

様式第3号（第8条関係）

月次状況報告書（令和 年 月 日）

令和 年 月 日

宇和島市長 様

（受注者）

所在地

団体名

代表者職氏名

1 訪問・状況確認を行った支援対象児童等の数

区分	対応人数
訪問	人
訪問以外	人
（電話・メール）	
（子ども食堂での面談等）	
その他（ ）	
計	人

2 状況に応じて支援を行った支援対象児童等の数

区分	対応人数
食事・食材の提供	人
学習支援	人
生活指導支援	人
計	人

3 支援対象児童等の対応について
様式第4号に詳細を記載。

様式第4号 (第8条関係)

支援対象児童等見守り強化事業確認書 (令和 年 月期)

対象児童等氏名 _____ 住所 _____

回数 実施合計数 _____ 回

【内訳】

実施年月 実施時間	実施方法	支援内容	連絡事項
1 __月__日 (曜日) __時__分 } __時__分	1 訪問 2 訪問以外 ①電話・メール ②子ども食堂面談 ③その他 ()	1 状況把握 2 食事・食材の提供 3 生活指導支援 4 学習支援	
2 __月__日 (曜日) __時__分 } __時__分	1 訪問 2 訪問以外 ①電話・メール ②子ども食堂面談 ③その他 ()	1 状況把握 2 食事・食材の提供 3 生活指導支援 4 学習支援	
3 __月__日 (曜日) __時__分 } __時__分	1 訪問 2 訪問以外 ①電話・メール ②子ども食堂面談 ③その他 ()	1 状況把握 2 食事・食材の提供 3 生活指導支援 4 学習支援	
4 __月__日 (曜日) __時__分 } __時__分	1 訪問 2 訪問以外 ①電話・メール ②子ども食堂面談 ③その他 ()	1 状況把握 2 食事・食材の提供 3 生活指導支援 4 学習支援	
5 __月__日 (曜日) __時__分 } __時__分	1 訪問 2 訪問以外 ①電話・メール ②子ども食堂面談 ③その他 ()	1 状況把握 2 食事・食材の提供 3 生活指導支援 4 学習支援	

事業実績(R3)

令和3年度支援対象児童等見守り強化事業実績

○訪問・状況確認を行った支援対象児童等の数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問			5	16	27	27	60	60	60	83	87	84	509
訪問以外			11	38	48	48	35	20	21	29	30	9	289
電話・メール			9	12	16	16	9	1	2	3	2	3	73
子ども食堂での面談等			1	2	3	3					1		10
SNS、他			1	24	29	29	26	19	19	26	27	6	206
計	0	0	16	54	75	75	95	80	81	112	117	93	798

○状況に応じて支援を行った支援対象児童等の数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
食事・食材の提供			5	17	29	29	65	65	64	87	91	90	542
学習支援									1	6	11	1	19
生活指導支援													0
計	0	0	5	17	29	29	65	65	65	93	102	91	561

○子ども食堂訪問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
			10	7	7	6	7	11	9	3	5	2	67

○対象者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数			6	11	17	17	34	34	34	46	46	47	292
児童数			8	18	33	33	65	65	65	88	88	90	553

事業実績(R4)

令和4年度支援対象児童等見守り強化事業実績

○訪問・状況確認を行った支援対象児童等の数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	65	73	84	85	80	81	78	88	36	83			753
訪問以外	8	11	14	5	6	5	6	2	56	4			117
電話・メール	4		6			3	2	1					16
子ども食堂での面談等	0												0
SNS、他	4		8	5		2	4	1					24
	73	84	98	90	86	86	84	90	92	87	0	0	870

○状況に応じて支援を行った支援対象児童等の数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
食事・食材の提供	65	72	84	80	80	81	82	87	88	87			806
学習支援	7	9	14	11	17	17	17	28	21	26			167
生活指導支援		0	1	0									1
	72	81	99	91	97	98	99	115	109	113	0	0	974

○子ども食堂訪問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	2	10	6	7	6	7	6	9	4	6			63

○対象者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
世帯数	33	39	41	41	41	42	43	46	47	47			348
児童数	65	74	79	79	79	81	82	87	88	87			662

効果

- ・行政からの接触を敬遠しがちな家庭についても民間団体が実施することで訪問が可能になるなど、定期的に状況を把握できるようになった。
- ・受託団体が訪問を重ねることで信頼関係が構築され、気軽に相談できる存在となった。
- ・市で支援対象と把握できていなかった家庭とつながることができた。
- ・学習支援が家庭学習定着等のきっかけとなった。

課題

- ・対象者選定の客観性の確保
- ・従事者への研修の実施等によるスキル向上
- ・学習支援を利用したいが通わせることが困難

要保護児童対策地域協議会の見守り体制だけでは、十分なものとはいえないと思っています。

支援対象児童等見守り強化事業を実施することで、地域の見守り体制の強化につながっていると感じています。

実施されていない自治体は今後の事業実施のについて改めて検討されてはいかがでしょうか。

本日はありがとうございました。